

## 下関市立大学の求める教員像

令和3年3月18日

学 長 裁 定

下関市立大学（以下「本学」という。）は、3つの理念「教育と研究の一体性に基づく新たな知の創造」、「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」、「地域社会の知的センターとして地域に根ざした教育と研究」を掲げている。この3つの理念にもとづいて行われる本学の教育と研究は、「バランスのとれた教養豊かな高度職業人を養成すること」、「地域社会及び国際社会の発展に寄与すること」を目的としている。

本学は、高等教育機関として、これら3つの理念のもとに2つの目的を達成することによって、地域住民のみならず、日本国民及び世界中の人々から支持される高等教育を推進する。そのために本学は、以下のような教員像を求める。

### （高い倫理観）

1. 大学人として高い倫理観を有し、常に学術文化の振興に邁進するとともに、大学の運営において自らの使命を自覚し、多様性を認め合い協働しながら意欲的にその発展に貢献する教員

### （優れた教育力）

2. 社会の発展に貢献し得る人材を育成するために優れた教育力を発揮し、常に教育方法、内容等の不断の点検と向上や適正な授業運営と公正な成績評価に傾注し、教育者としての資質の向上を志向する教員

### （高い研究実績）

3. 優れた教育力を獲得するために、高い研究実績を有するか、その獲得へ向けて常に高度で独創的な研究の推進を希求する教員

### （高い発信能力）

4. 国内外に向けて教育成果、研究成果に関する高い発信能力を有し、高等教育機関としての存在意義を高めることができる教員

### （外部環境変化への柔軟な対応力と貢献力）

5. 社会経済情勢、技術進歩、グローバル化等、高等教育を取り巻く外部環境の変化に柔軟に対応しながら、教育研究を実践するとともに、その成果を社会に還元すべく専心努力する教員